

愛知県豊明市
精文館書店豊明店

こちらの店舗はロードサイド店ですので、外観はアイキャッチ・視認性を優先しています。そのために看板照明を明るくするのはもちろん、ガラス張りの建物であかりを外に漏らす、いわば内部の照明も外観に影響させるような照明計画が立てられました。

外へ見える部分として、エントランスのロフトペンダントは14灯と、通常よりも多めに付けています。やはりフロントからの見栄えは最も重要ですから、明るく感じさせるためにプリズムセードにしました。もちろん書店ですので、手元の明るさも充分とらなくてはけません。図面上で明るくなっても、実際に什器が入ってくると暗く見える部分がどうしてもできてきますので、最後まで現場で細かい変更・修正はありました。



施工担当者：
藤和電設(株) 専務取締役 林 学さん

内部のあかりもあえて外に漏らす ガラス張りの店舗で、 外観のアイキャッチ・視認性を高めました。



ここが自慢!

什器と直角に配置することで
手元のあかさを確保しました

什器の配置を考え、少しでも手元が明るくなるように器具を什器と直角に配置しました。



FHT-92404-PN9

■施工物件 精文館書店豊明店

■施設の概要

所在地：豊明市前後町字
宮前1500-1の一部
延床面積：2,027.01m²
構造・規模：鉄骨造・地上2階建
設計：(株)オフィス鈴木
一級建築士事務所
施工／建築：小原建設(株)名古屋支店
／電気：藤和電設(株)
竣工：平成17年12月

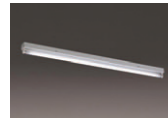




ここが自慢!

レジ周りはHID埋込ダウンライトと 建築化照明で落ち着いた空間を演出

建築化照明に使用しているトラフ器具には電球色を使用し、落ち着いた演出をしています。



FHT-41007N-PA9



お施主様からひとこと

「照度」と「コスト」の 両立をお願いしました

(株) 精文館書店
TSUTAYA担当部長
商品部 AV担当部長
老平 悦朗氏

当社はTSUTAYAを展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株) とフランチャイズ契約を結んでおり、こちらの豊明店は1階が当社の直営店、2階がTSUTAYAとなっております。

照明に関しては機能やデザインなどの面もありますが、最終的にこちらからお願いしたのは「照度」と「コスト」です。

特に書店では、お客様が本を自分の手元にとった時の明るさが最も重要です。手元が暗いと、いくら天井面が明るくても暗く感じてしまいますからね。具体的には手元面の照度が1800~2000 lxは欲しいとお願いしました。また外観は脇を走る道路からの視認性を重視し、ガラス張りで内部から発光するような、誘引性のあるものを目指しました。



ここが自慢!

エントランスは明るさとメンテナンスを考え オートリレー付口フットペンダントを配置

エントランスは外部から見られることも考え、とにかく明るくするためにプリズムセードの口フットペンダントを吹き抜けに配置しました。また後々のメンテナンスのことも考え、オートリレーを付けています。



SN-40991(W)K
+HUD-22027-200



ここが自慢!

HID埋込ダウンライトで 明るい入口を演出

軒下には150Wセラミックメタルハライドランプダウンライトを配置しています。



DD-15113K-PM



東芝ライテック(株) からワンポイントアドバイス!

商業施設で重要な 3つの秘訣

- know-how ① 水平面照度と鉛直面照度
店舗では鉛直面照度の明るさを重視!
- know-how ② 空間演出と商品演出
ベース照明とのバランスを考える
- know-how ③ 演色性
忠実演色と効果演出を使い分けて効果アップ!

商業施設には こんな製品もおすすめです

FWT-70601



バッフル付薄形直付器具
ネオスクエアII
スクエアランプ搭載で、薄形で
高効率なスクエア器具です。
ベース照明におすすめです。

MSP-0310(W)



CDMスポットライト
セラミックメタルハライドランプ
を搭載したスポットライトです。
商品演出照明におすすめです。